平成 24 年～ 28 年度

文部科学省　大学間連携共同教育推進事業

ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成

第２回
ＩＴを活用した教育センターワークショップ報告書



平成２５年　３月

ＩＴを活用した教育センター

第 2 回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して

昭和大学歯学部長　宮﨑　隆

平成 24 年度に文部科学省の大学間連携共同事業として採択された「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プログラムについては、連携校である北海道医療大学と岩手医科大学と力をあわせて各歯科医師会との連携のもとに事業を進めています。すでに「IT を活用した教育センター」を設立し、能動型学習資源の改良、歯学教育プログラムの開発作業等に着手いたしました。そして、具体的な教材作成のために、このたび 3 月 7 日（木）に昭和大学旗の台校舎において、3 大学ならびに各歯科医師会から約 60 名の参加のもとに、第 2 回目のワークショップを開催しました。

今年度は IT 教材開発に向けて、4 つのワーキンググループを立ち上げました。事前にテレビ会議等を通じて、各グループで作業を行い、それをワークショップの現場でグループごとにブラッシュアップして、さらに全体討論を行い、再度グループ作業で最終プロダクトを作成しました。

グループ代表者の美島健二教授（昭和大学）、城茂治教授（岩手医科大学）、向井美惠教授（昭和大学）、越野寿教授（北海道医療大学）には事前の準備から当日のグループ討議、そしてプロダクトの作成まで大変なご尽力を賜り、感謝申し上げます。お蔭様で満足のいくプロダクトが提案されました。「IT を活用した教育センター」では、このプロダクトをもとに、さらに次年度以降の各大学のカリキュラムで活用できるように、事後のブラッシュアップを継続しています。

超高齢社会における国民の長寿健康には、地域における医療連携が重要であり、歯科医療の役割には大きいものがあります。今回のワークショップでは、第 1 回に引き続き、地域医療の現場で活躍している歯科医師会の先生がたと一緒に、今後の歯学教育のカリキュラム内容を検討することができました。ご協力を賜りました、歯科医師会の関係者に篤く感謝申し上げます。

最後になりましたが、ワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力 IT 企業、ならびに昭和大学の関係者に御礼申し上げます。